

平成 29 年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

議事録

[第 1 回 委員会]

1. 日時 平成30年1月22日(月) 10時00分～12時00分
2. 場所 鉄道・運輸機構 東京支社5階第1会議室
3. 出席者 委員：家田委員長、屋井委員、楓委員、岩倉委員、岸委員
4. 議事

(1)委員長の選出について

■家田委員が選出された。

(2)平成29年度独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

運営要領(案)について

■事務局案は了承された。

(3)整備新幹線事業の再評価対象事業に関する事業評価報告書(案)について

■北海道新幹線(新函館(仮称)・札幌間)、北陸新幹線(金沢・敦賀間)及び九州新幹線(武雄温泉・長崎間)事業に関する事業評価報告書(案)について鉄道・運輸機構より説明。

■委員からの主な意見

審議の結果、以下の意見が出された。

- ① 九州新幹線(武雄温泉・長崎間)について
・評価手続中とすることについて了承された。
- ② 事業を巡る社会経済情勢等の変化について
・福井県の観光入込客数について、訪日外国人の旅客数等の統計が公表されていないか、改めて確認すること。
- ③ 本事業における効果・影響について
・札幌駅は快速エアポートや高速バスとの接続性が重要であるため、報告書の中で表現すること。
・福井県は、福井駅周辺だけでなく少し足を伸ばした場所に永平寺や恐竜博物館等の有名な観光地が多いため、福井駅に早く到着できることは重要である。
- ④ 事業の進捗状況について

- ・北海道新幹線において、総事業費が全く変わっていないことに対して、報告書に説明があったほうが良い。
- ・工事進捗について、過去の整備新幹線と比較した場合にどのように評価しているのか、報告書の中で表現すること。
- ・敦賀駅の上下乗換設備は、敦賀・大阪間が開業した後も無駄な設備ではないのか整理すること。

⑤ その他

- ・北陸新幹線の報告書において、昨年決定した敦賀・大阪間のルートについて整理すること。

5. その他

- 上記意見を踏まえた資料の修正を行い、2月22日に第2回委員会を開催し、修正内容を審議することとなった。